

令和5年度 子ども・若者の“声”募集箱に寄せられた主な声と市長からのメッセージ

月	通数 件数	主な声	市長からのメッセージ
3月	47通	<ul style="list-style-type: none"> ・ニヶ領用水について ・ごみの分別について ・防災無線について ・まちづくりについて ・地域猫について 	<p>ニヶ領用水について学び、これからも大切にしていきたいという気持ちを持っていただいてうれしく思います。</p> <p>これまでも地域の大人たちがニヶ領用水を守る活動をずっと続けてくれていますが、これからもより多くの子どもや若者たちにその想いをつないでいっていただければと思っています。</p> <p>みんながごみを捨てないでほしいという強い気持ちを多くの市民のみなさんに伝えていく方法を一緒に考えていきませんか。</p> <p>私も関係者のみなさんと話をしてみますし、みなさんの学校ともどのような連携ができるか相談してみます。</p> <p>今年は市制100周年です。ニヶ領用水がもたらした川崎市の発展と共に地域の歴史についてより幅広く勉強してもらえるともっと地域のことが好きになると思いますよ。</p>
	48件	など	

これまでに寄せられた声と市の考えについては、次のページに掲載してあります。

<https://www.city.kawasaki.jp/450/page/0000155476.html>

令和5年度 子ども・若者の“声”募集箱に寄せられた主な声と市長からのメッセージ

月	通数 件数	主な声	市長からのメッセージ
	件数		
2月	20通	<ul style="list-style-type: none"> ・ぼうさい訓練について ・道はばや信号について ・公園について ・プライベートpartsについて ・教員さいやう試験について <p>など</p>	<p>今月もさまざまな声を投稿していただき、ありがとうございます。2月は、防災に関して「防災訓練を増やしてほしい」といったご意見がありました。1月に石川県の能登地方で最大震度7の地震が起き、大きな被害が発生しました。被災地の災害対応を支援するため川崎市からも職員を派遣して被災地の各避難所運営支援等、さまざまな活動を行っています。</p> <p>川崎市では、市全体で川崎市総合防災訓練を年1回、各区で地域の実情に合わせた区総合防災訓練を年2回実施しています。各防災訓練を実施するときは、市ホームページなどで広報しますので、ぜひ皆さんもお住いの区で行われる防災訓練に家族や友だちも誘って参加してもらいたいと思います。</p> <p>また、災害時には各小中学校などが避難所になりますが、市職員だけでの避難所の開設や運営が難しいため、地域団体（町内会・自治会、自主防災組織など）、PTA、施設管理者、市職員などで構成された「避難所運営会議」が中心となり、避難された方とも協力しながら避難所を運営します。</p> <p>災害時に、避難所の運営を円滑に行うためには、地域に住んでいる皆さんの協力・連携のもと、取組を進めることが重要です。そこで、避難所運営会議が中心となり多くの地域で避難所開設・運営訓練等を実施していますが、各地域で訓練が行われているかを確認し、もし十分できていない地域がありましたら、子どもたちから「もっと防災訓練を行ってほしい」といった声が届いていることを伝えながら、ぜひ実施していただくよう私からもお願ひしてみます。</p> <p>最後に、皆さんが今すぐにできることとして、災害が発生した時に必要となる物品（飲料水、食料、救急医療品等）を事前に準備しておくことや、ハザードマップの確認があります。ハザードマップとは、土砂災害や洪水、津波などの災害が発生した場合に注意が必要な地域や避難所の場所などを確認ができる地図です。区役所などで配布しているほか、市ホームページにも掲載していますので、皆さんも住んでいる地域のハザードマップを確認し、災害が発生したときに自分や家族の身を守るためにどのように行動するかなど家族の皆さんと話し合ってください。</p>
	21件		

これまでに寄せられた声と市の考えについては、次のページに掲載してあります。

<https://www.city.kawasaki.jp/450/page/0000155476.html>

令和5年度 子ども・若者の“声”募集箱に寄せられた主な声と市長からのメッセージ

月	通数 件数	主な声	市長からのメッセージ
1月	19通	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGA端末（たんまつ）の規制について ・学校の校則について ・自転車の危険運転について ・駅の喫煙スペースについて ・街の緑について ・子どもの遊び場について <p style="text-align: center;">など</p>	<p>今月もさまざまな声を投稿していただき、ありがとうございます。今回、「GIGA端末の規制」と「緑を増やしてほしい」といったご意見がありました。</p> <p>GIGA端末の規制については、これまでたくさんの方の声をいただきましたが、皆さんがGIGA端末を利用するうえで一定のルールは必要だと思います。しかし、せっかくのGIGA端末、学習に使いたいのに使えないというのはもったいないと思いますので、どういう使い方が望ましいのか、改めて教育委員会と話してみます。</p> <p>次に、緑を増やしてほしいという意見について、川崎市では市制100周年を迎える今年と来年に、全国都市緑化かわさきフェアを開催し、緑に関するさまざまな取組を行っていきます。本市の緑の量は、緑地の保全などさまざまな取組を行っていますが、都市化等により、30年前と比較すると、緑地や農地などの割合が約7%減少（20年前と比較すると3%減少、10年前と比較すると1%減少）しています。しかし、もちろん緑の量も大事ですが、質の高い身近な緑も大事だと考えていますので、それを皆さんと作っていきたいと思っています。そして、これから100年は緑の価値を高める取組もしていきます。</p> <p>また、皆さんにとって、身近な緑としては公園があると思います。皆さんは公園を誰が管理しているか知っていますか。公園は、町内会・自治会など地域の方々が清掃活動などをして、きれいにしてくれています。利用する皆さんもその中に加わって、管理にも、ぜひ参加してくれると嬉しいです。</p>
	24件		
12月	16通	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の校則について ・GIGA端末（たんまつ）について ・バスケットゴールについて ・公園のサッカーゴールについて ・自習ができるスペースについて ・学校の図書室について <p style="text-align: center;">など</p>	<p>今月もさまざまな声を投稿していただき、ありがとうございます。今回、「学校の図書室について」の声が寄せられました。</p> <p>図書室で本を読むことは、楽しかったり勉強になったり心を落ち着かせたりできますよね。図書室の本は、定期的に本の更新作業を行っており、その際、学校司書の意見や要望を取り入れて、皆さんが利用しやすいような充実した読書環境を整えています。なお、小学校・中学校・特別支援学校の図書室には学校司書という役割の職員がおり、図書室の運営の補助や、システムを使った本の管理の補助などを行っています。</p> <p>また、学校の図書室以外にも、川崎市内13か所にある「川崎市立図書館（分館や閲覧所を含む）」（https://www.library.city.kawasaki.jp/index?1）外部リンクや、「かわさき電子図書館」（https://web.d-library.jp/kawasaki/g0101/top/）外部リンクでも多くの本を読むことができますので、ぜひご利用ください！</p>
	16件		

これまでに寄せられた声と市の考えについては、次のページに掲載してあります。

<https://www.city.kawasaki.jp/450/page/0000155476.html>

令和5年度 子ども・若者の“声”募集箱に寄せられた主な声と市長からのメッセージ

月	通数 件数	主な声	市長からのメッセージ
11月	72通 74件	<p>• 学校の校則について • GIGA端末（たんまつ）について • 公園でのボール遊びについて • 公園の利用ルールについて • 市制100周年に関するイベントについて • ごみのポイ捨てについて • ごみの集積所について など</p>	<p>今月もさまざまな声を投稿していただき、ありがとうございます。今回、「川崎市市制100周年を記念したイベントをやってほしい」というご意見がありました。</p> <p>川崎市は来年、令和6年7月1日に市制100周年をむかえます。100周年をむかえるにあたって川崎市内の各地でいろいろな100周年記念事業やイベントが開催されます。現在もプレイベントとして、先月11月には、市役所通りの車道を一時的に歩行者空間とし川崎の魅力を集結させた「みんなの川崎祭」や、市内各地で開催されるフェスティバルをデジタルスタンプラリーでつなげた「Colors, Future! Summit（カラーズ, フューチャー！サミット）」を開催し、来年度についても開催を予定しています。開催日、地域、アクションテーマなどの条件からでも検索できる、「川崎市市制100周年記念事業公式ウェブサイト（https://kawasaki-city100.jp/）」外部リンクのイベントカレンダーをチェックして、興味があるイベントにどんどん参加してみてください！</p> <p>また、この歴史的なタイミングをきっかけに、次の100年に向けて「あたらしい川崎」を生み出していくためのスタートラインとして、いろいろな記念事業「Colors, Future! Actions（カラーズ, フューチャー！アクションズ）」が、オール川崎市で動き出しています。「名物フード」や「イベント・祭り」、「学び」など、身近な取組をイメージした15個のアクションテーマから、皆さんも「川崎が好きになる」アクションを、このまちで起こしていきましょう！</p>

これまでに寄せられた声と市の考えについては、次のページに掲載してあります。

<https://www.city.kawasaki.jp/450/page/0000155476.html>

令和5年度 子ども・若者の“声”募集箱に寄せられた主な声と市長からのメッセージ

月	通数 件数	主な声	市長からのメッセージ
10月	25通	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の校則について ・GIGA端末（たんまつ）について ・公園でのボール遊びについて ・バスケットゴールについて ・まちの緑化について ・暴走族について <p>など</p>	<p>今月もさまざまな声を投稿していただき、ありがとうございます。今回、「まちの緑化」についてご意見がありました。</p> <p>日々、暮らしていく中で自分の周りにみどりがあると、穏やかな気持ちになったり、環境が良くなったり、まち全体が彩（いろど）られていいですね。</p> <p>川崎市では、市制100周年を迎える令和6年までに、市民の皆さんや企業の方などと協力することにより、「市民150万本植樹運動」として、新たに150万本の木を植えることを目指しています。令和5年3月31日時点で、125万本546本の植樹を達成しています。</p> <p>また、市制100周年にあたって、「全国都市緑化かわさきフェア」を開催し、“川崎らしいみどり”を全国に向けて発信していきます。このフェアを盛り上げていくため、市立の全小中学校等をはじめ、市民の皆さんと花苗づくり等を行い、皆さんと協力して、かわさきフェア会場や通学路にある花だんなどを彩っていく活動を行っています。</p> <p>このフェアをきっかけに次の100年に向けて、私たちの日常の暮らしの中にみどりが溶け込み、みどりを通して、人と人、人と暮らしが緩やかにつながり、心豊かなまちになるよう取り組んでいきますので、皆さんも是非ご協力をお願いします。</p> <p>「市民150万本植樹運動」については、こちら (https://www.city.kawasaki.jp/530/page/0000077973.html)、 「全国都市緑化かわさきフェア」のについては、こちら（https://green-for-all-kawasaki2024.jp/）、 ぜひチェックしてみてください！</p>
	26件		

これまでに寄せられた声と市の考えについては、次のページに掲載してあります。

<https://www.city.kawasaki.jp/450/page/0000155476.html>

令和5年度 子ども・若者の“声”募集箱に寄せられた主な声と市長からのメッセージ

月	通数 件数	主な声	市長からのメッセージ
9月	20通	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の校則について ・GIGA端末（たんまつ）について ・公園でのボール遊びについて ・バスケットゴールについて ・魅力的な図書館が欲しい <p>など</p>	<p>今月もさまざまな声を投稿していただき、ありがとうございます。今回、「公園でボール遊びがしたい」というご意見がありました。</p> <p>公園は、利用する子どもや若者、その他の利用者、近くに住んでいる方々など、誰でも気持ちよく過ごせるようつくられています。川崎市内の公園では、大人数でのボール遊びや試合などはできませんが、子どもたちが数人で軟式ボールやビニールボール、サッカーボールなどを使って遊ぶことは、ほかの利用者の迷惑とならない範囲内でできますので、ゆずり合いの気持ちを持ちながら、ルールを守って楽しく遊びましょう。誰もが過ごしやすいような公園をつくるため、公園のルール作りをしていきますので、子どもや若者、大人にかかわらず、みなさんが素敵な公園にしていきましょう。</p> <p>また、外で思い切りボール遊びをしたい人は、「みんなの校庭プロジェクト」という、みなさんが通う小学校の校庭で、放課後に自由にのびのび遊べるようにする取組を進めており、令和6年度には、すべての小学校で遊べるようになりますので、ぜひチェックしてみてください。「みんなの校庭プロジェクト」のくわしい取組については、こちら</p> <p>(https://www.city.kawasaki.jp/880/page/0000142297.html) を見てみてください。</p>
	21件		
8月	20通	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動について ・GIGA端末（たんまつ）について ・喫煙（きつえん）について ・ごみのポイ捨てについて ・図書館について ・自転車専用通行帯について <p>など</p>	<p>今月もさまざまな声を投稿していただき、ありがとうございます。今回、「本が好きだけど図書館に行くのが大変」というご意見がありました。</p> <p>図書館で本を読むのは楽しいし、図書館が家の近くにあったら便利でもっと本がたくさん読めるかもしれないですよね。また、本を読むことで、知らなかつたことが分かるようになったり、自分の世界が広がるきっかけになると思います。川崎市では、令和5年3月21日から「かわさき電子図書館」をお試しで始めました。電子図書館では、図書館に行かなくても、パソコンやGIGA端末、スマートフォン、タブレットなどを使って、24時間365日（メンテナンス時を除く）、電子図書資料を貸出・返却・予約ができますので、家から図書館が遠くて直接行くのが大変な人でも、簡単に本を読むことができます。こちらの文章をクリックしていただくと専用のホームページが開きますので、興味がある人は見ていただき、ぜひ利用してみてください。</p>
	21件		

これまでに寄せられた声と市の考えについては、次のページに掲載してあります。

<https://www.city.kawasaki.jp/450/page/0000155476.html>

令和5年度 子ども・若者の“声”募集箱に寄せられた主な声と市長からのメッセージ

月	通数 件数	主な声	市長からのメッセージ
7月	17通	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の給食について ・GIGA端末（たんまつ）について ・バスケットゴールについて ・LGBTQについて ・公園にごみ箱を設置してほしい ・自転車専用通行帯について <p>など</p>	<p>今月もさまざまな声を投稿していただき、ありがとうございます。今回、「LGBTQ」についてご意見がありました。</p> <p>性別にとらわれることなく、子どもや高齢者、外国人や障害のある人など、全ての人が気持ち良く生きていくうえで、お互いの意見を尊重しあうこと、多様性を認め合うことは大切なことです。川崎市では、ブランドメッセージ（わたしたちが住んでいるまちの魅力（みりょく）やこうありたいという気持ちを言葉にしたもの）として「Colors, Future!（カラーズ, フューチャー!） いろいろって、未来。」を2016年に定めました。この言葉には、多様性を認め合い、つながり合うことで、新しい魅力（みりょく）や価値（かち）を生み出していこうという川崎市の願いが込められています。</p> <p>また、川崎市では全国で初めて「子どもの権利に関する条例」を平成13年に施行しました。この条例では、保障されなければならない「人間としての大好きな子どもの権利」として「ありのままの自分でいる権利」を掲げています。</p> <p>全ての人がお互いを認め合い、尊重し、多様であることを受け入れるまちにしていくために何かできることはあるかなど、機会があれば考えてみてください。また、ご意見お待ちしています。</p>
	20件		
6月	35通	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育方法について ・給食について ・公園でのボール遊びについて ・公園にごみ箱を設置してほしい ・子どもが遊べるような場所を作ってほしい <p>など</p>	<p>今月もさまざまな声を投稿していただき、ありがとうございます。今回、「子どもの遊び場」についてのご意見がありました。</p> <p>川崎市では、公園のほかさらに、子どもの遊び場を充実させるために、みんなが通う小学校の校庭で、放課後にボール遊びなど自由にのびのび遊べるようにする「みんなの校庭プロジェクト」をスタートしています。</p> <p>このプロジェクトは、市内小学生の子どもたちの“自由にボール遊びができる場所がほしい”との声がきっかけです。子どもの“やりたい”を実現する取組として、”公園のように自由に遊ぶ”も、子どもたちとたくさん意見交換をし、みんなの声をもとに決めました。</p> <p>令和6年度には、すべての小学校で、放課後に校庭で遊べるようになりますが、現在、子どもたちを中心に、自分たちの学校で楽しく遊ぶためのルールづくりをしています。子どもたちが話し合った結果、実現したルールなど、みんなの校庭プロジェクトのこれまでの取り組みについては、こちら（https://www.city.kawasaki.jp/880/page/0000142297.html）を見てみてください。</p>
	68件		

これまでに寄せられた声と市の考え方については、次のページに掲載してあります。

令和5年度 子ども・若者の“声”募集箱に寄せられた主な声と市長からのメッセージ

月	通数 件数	主な声	市長からのメッセージ
5月	32通	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の給食について ・GIGA端末について ・公園にバスケットゴールを設置してほしい ・公園にトイレを設置してほしい ・近くに図書館がないので増やしてほしい <p>など</p>	<p>今月もさまざまな声を投稿していただき、ありがとうございます。今回、「学校給食」と「公園のバスケットゴール」についてのご意見がありました。</p> <p>まず、小中学校の学校給食は、皆さんの健康や成長のために、必要な栄養量を計算して、家で食べる食事では足りないと考えられている栄養素を、できるだけ学校給食で食べるように献立を決めています。</p> <p>また、さまざまな工夫として、すべての市立小学校では、地元の食材を活用した献立など、各学校が工夫をこらしながら、自校献立を年2回実施しています。中学校では、中学校給食献立コンクールを開催し、令和5年度は、SDGsの取組を推進するため、比較的食べ残しが多い献立に、美味しく食べられる工夫をすることで、食品ロスの削減についても考えられるようにしています。</p> <p>次に、「公園にバスケットゴールを設置してほしい」という意見についてですが、現在、バスケットゴールは市内6か所の公園に設置されています。川崎市では、子どもや若者の皆さんがもっと日常的にスポーツを楽しめるよう、さらにバスケットゴールを設置できないか、実験を行っています。この実験では、新たに3か所の公園などにバスケットゴールを設置し、どのような効果があったのかなどを調べ、今後、つねにバスケットゴールを設置していくための、利用ルールなどについて考えていく予定です。どのようなルールだと利用者もお近くにお住まいの方なども気持ちよく楽しめると思いますか。また、ご意見を聞かせてください。</p>
	35件		
4月	28通	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレについて ・GIGA端末の利用について ・大きな公園をつくってほしい ・ボール遊びができる公園がほしい ・投票所できる年齢について ・投票所について <p>など</p>	<p>今月もさまざまな声を投稿していただき、ありがとうございます。今回、「選挙」についてのご意見がありました。選挙は、以前は20歳にならないと投票することができませんでしたが、平成28年からは18歳で投票することができるようになりました。そして、その選挙をするための投票所の運営は、地域住民の皆さんと市が協力しておこなっています。また、川崎市では、18歳以下の皆さんの意見や声を聞くために、「子ども・若者の“声”募集箱～君のつぶやきをきかせて～」をおこなっていますので、川崎市に対する想いや感じていること、まちを良くするためのアイデアなど、ご意見を聞かせてください。皆さんも、日ごろから世の中の出来事に興味や関心を持ってもらい、18歳になりましたら、自分の意思表示（いしひょうじ）をするためにも積極的に選挙に行ってみてください。</p>
	29件		

これまでに寄せられた声と市の考えについては、次のページに掲載してあります。

<https://www.city.kawasaki.jp/450/page/0000155476.html>